

作成日：平成 18 年 2 月 6 日

改訂日：平成 26 年 4 月 21 日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名：水性プロ用ゴキブリ駆除剤（販売名：水性コックローチ S 2 A）

用途：殺虫剤

会社名：大日本除虫菊株式会社

住所：大阪市西区土佐堀 1 丁目 4 番 11 号

担当部門：中央研究所

電話番号：06-6334-0001 FAX 番号：06-6334-0004

整理番号：**1222**

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性：通常の使用において危険はない。高压ガスを使用した可燃性の製品であり、火気の付近及び高温になる場所に置くと破裂・爆発する可能性がある。水回りや湿気の多い場所に置くと容器が錆び、エアゾール原液が漏出することがある。

エアゾール原液：非危険物（GHS 分類は区分外）

（高压ガス保安法において高压ガス適用除外）

健康有害性：飲み込むと有害のおそれ（イミプロトリン、フェノトリン原体の GHS 分類は分類できない）

環境影響：水生生物に対して毒性を示す成分を含む。（イミプロトリン、フェノトリン原体の GHS 分類は区分 1）

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分：＜有効成分＞

ピレスロイド（イミプロトリン 0.292w/v%、フェノトリン 0.750 w/v% 〈原液 100ml あたり〉）

＜その他の成分＞ 香料、水、ケロシン（灯油）、LPG、他

成分：イミプロトリン（ピレスロイド系殺虫剤）

化学名：[2、5-ジオキソ-3-(2-プロピニル)-1-イミダゾリジニル]メチル(±)-シス・トランス-クリサンテマート

化学式： $C_{17}H_{22}N_2O_4$

官報公示整理番号：化審法 適用外、安衛法 8-(2)-1598

CAS No.：72963-72-5（ラセミ体）

成分：フェノトリン（ピレスロイド系殺虫剤）

化学名：3-フェノキシベンジル d-シス/トランス-クリサンテマート

化学式： $C_{23}H_{26}O_3$

官報公示整理番号：化審法 (3)-4219、安衛法 4-(7)-998

CAS No.：26002-80-2（ラセミ体）

成分：ケロシン（灯油）

化学名：石油系炭化水素

化学式：特定できない

官報公示整理番号：化審法 (9)-1702、安衛法 公表化学物質

CAS No.：8008-20-6

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し安静保温につとめる。酸素吸入を行う。医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 水でよく洗い、石鹸を使ってよく落とす。
- 目に入った場合 : 流水で十分に洗い流し、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに吐き出させ医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、粉末、炭酸ガス、砂
- 消火方法 : エアゾール周辺で火災が起きた場合、エアゾールを安全な場所に移動させる。それが不可能な場合は注水して冷却する。

6. 漏出時の措置

- 水回りや湿気の多い場所に置くと容器が錆び、内容液が漏出することがある。
- 風下の人を退避させ、付近の火気に充分注意すると共に、通風等により換気を良く行う。漏出液を乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い :

(注意事項)

<してはいけないこと>

- (1) 人体に向かって噴射しない。また噴射気体を直接吸入しない。

<相談すること>

- (1) 万一、誤って大量に吸入するなどして、体調に異常を感じた場合は、本品がピレスロイド系の殺虫剤であることを医師に告げて、直ちに診療を受ける。
- (2) 今までに薬や化粧品等によるアレルギー症状（例えば発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等）を起こしたことのある人は使用前に医師又は薬剤師に相談する。

<その他の注意事項>

- (1) 定められた用法・用量を遵守する。
- (2) 噴射中は噴射する人以外の入室を避け、噴射後は室内の空気が外気と入れ換わってから入室する。
- (3) 皮膚、飲食物、食器、小児のおもちゃ、観賞魚・小鳥などのペット類、飼料、植物にかからないようにする。
- (4) 薬剤が皮膚についた時は、石けんと水でよく洗う。眼に入ったときは、直ちに水でよく洗い流す。

保管 :

- (1) 直射日光を避け、涼しい場所で小児の手の届かない場所に保管する。
- (2) 暖房器具（ファンヒーター等）の周囲は、温度が上がり破裂する危険があるので置かない。
- (3) 缶のさびを防ぐために、水回りや湿気の多い場所に置かない。

8. 暴露防止及び保護措置

定められた用法・用量及び使用上の注意事項に従って使用する。

9. 物理的及び化学的性質

(エアゾール原液)

物理的状态

形状：液体

色：淡黄色澄明

臭い：芳香

引火点：なし

密度：0.834

10. 安定性及び反応性

安定性：室温において安定。

反応性：なし。

11. 有害性情報

急性毒性

(エアゾール原液)

経口（ラット） LD50 : ㇏♀とも 2000mg/Kg 以上

(マウス) LD50 : ㇏♀とも 2000mg/Kg 以上

経皮（ラット） LD50 : ㇏♀とも 2000mg/Kg 以上

(エアゾール)

吸入（ラット） LC50 : ㇏♀とも 1.844mg/m³ 以上（フェノトリン濃度として）

皮膚一次刺激性（エアゾール原液）

(ウサギ)：弱い刺激物

眼一次刺激性

(エアゾール原液) (ウサギ)：軽度刺激物（洗眼により刺激を低減）

(エアゾール) (ウサギ)：軽度刺激物

その他、各種毒性試験で特に問題ない。但し、噴射気体を、できるだけ吸わないようにする。

12. 環境影響情報

魚介類に毒性あり。植物に噴霧すると薬害を生じることがある。

13. 廃棄上の注意

- ・捨てる時は、火気のない屋外で噴射音が消えるまでガスを抜く。
- ・火の中に入れない。
- ・廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の指導に従うこと。

14. 輸送上の注意

国連分類：クラス 2. 1（引火性ガス） : 国連番号 1950 (エアロゾール類)

輸送の特定の安全対策及び条件：輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。温度の上昇を防止する。また、火気の付近に置かない。

15. 適用法令

薬事法：防除用医薬部外品

危険物船舶運送及び貯蔵規則：クラス 2. 1 （引火性ガス）

高圧ガス保安法：(高圧ガス適用除外)

16. その他の情報

改訂の記録

作成日：平成 18 年 2 月 6 日

改訂日：平成 21 年 9 月 25 日

改訂日：平成 26 年 4 月 21 日

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、危険・有害性等
に関してはいかなる保証をなすものではありません。定められた用法・用量及び使用上の注意事項に
従ってご使用下さい。